

令和2年3月26日
秋 田 県

強い農業づくり交付金の事業評価結果（令和元年度評価分）について、強い農業づくり交付金実施要綱（平成17年4月1日付け16生産8260号農林水産事務次官依命通知）第8の7により、下記のとおり公表します。

【公表資料】

別紙様式2号 都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

【問い合わせ先】

秋田県農林水産部水田総合利用課
農産・複合推進班
電話 018-860-1786

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
II 食品流通の合理化を目的とする取組用

市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標Ⅰ							成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標Ⅱ							成果目標の具体的な実績	事業内容（施設区分、構造、規模等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
						事業実施後の状況										事業実施後の状況										（円）							
						計画時（平成22年）	1年後（平成26年）	2年後（平成27年）	3年後（平成28年）	4年後（平成29年）	5年後（平成30年）	目標値（平成30年）				達成率	計画時（平成22年）	1年後（平成26年）	2年後（平成27年）	3年後（平成28年）	4年後（平成29年）	目標値（平成29年）				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				
秋田市	秋田市中心卸売市場	秋田市	卸売市場再編促進施設整備	効率的な市場流通	集荷力の向上に関する目標（目標年度における取扱数量が推計値を0.7%以上超過）	76,847 t	65,362 t	63,411 t	59,143 t	57,388 t	59,345 t	78,076 t	-1,424.1%	取扱数量22.8%減	効率的な食品流通	物流コスト等の削減に関する目標（施設の維持管理コストを14.2%以上削減）	54,728千円	58,481千円	64,570千円	70,404千円	73,656千円	46,956千円	-243.5%	34.6%増	コスト	361,306,050	120,435,000	17,073,000	223,798,050	0	H25.3.29	【成果目標Ⅰ】 取扱量は、市場外流通の増加等の影響で減少が続いており大幅な未達となった。今後は、料理教室、試食会等の生鮮食料品の需要拡大に向けた取組や、売上高使用料の廃止による市場経由率の向上等により、H30より取扱量が増加に転じており、今後も注視しつつ、県として指導してまいりたい。 【成果目標Ⅱ】 施設全体の老朽化が進み、本事業の整備箇所以外の修繕が依然として必要なためコストが増加し目標未達となった。しかし、整備以前に頻発していた雨漏りなどの発生頻度は下がるとともに、場内業者の業務効率は改善されている。	【成果目標Ⅰ】 取扱量は、市場外流通等の多様化や少子高齢化に伴う人口減少という時代の潮流には逆らえず、成果目標を達成することができなかったが、売上高使用料廃止による市場経由率の向上等により、H30より取扱量が増加に転じており、今後も注視しつつ、県として指導してまいりたい。 【成果目標Ⅱ】 雨漏りの発生頻度やそれに係る修繕費は下がるなどの一定の効果は確認できるが、当初想定した以上に老朽化の進行が著しく、整備箇所以外の修繕が必要となるなど、修繕維持コストが増加した結果、目標を達成できなかった。
秋田市	秋田市中心卸売市場	秋田市	中央卸売市場施設整備	効率的な市場流通	集荷力の向上に関する目標（目標年度における取扱数量が推計値を0.7%以上超過）	33,619千本	32,839千本	31,986千本	31,376千本	30,330千本	28,197千本	33,961千本	-1,585.4%	取扱数量16.1%減	効率的な食品流通	物流コスト等の削減に関する目標（施設の維持管理コストを14.2%以上削減）	8,995千円	6,622千円	6,393千円	6,269千円	5,692千円	7,717千円	258.5%	36.7%減	コスト	63,600,600	21,200,000	3,005,000	39,395,600	0	H25.3.29	【成果目標Ⅰ】 取扱量は、緩やかながら減少したため目標未達となった。仲卸業者の低温倉庫の建設への協力（事業用定期借地権設定による市有地の貸付）等の取扱量の増加を促進する取組を行っており、今後も継続していく。 【成果目標Ⅱ】 維持管理コストは、目標値を大幅に上回る成果があり、今後もコスト低減に向けて、必要な修繕等を速やかに実施するなど、適切な措置を講じていく。	【成果目標Ⅰ】 青果・水産部と同様、時代の潮流には逆らえず、成果目標を達成することができなかったが、今後の戦略として、県が進める園芸メガ団地からの集荷強化を行い、生産地の特色を生かした夏場の有力な供給基地を目指す、取扱量の増加を図る方針である。 【成果目標Ⅱ】 本事業により必要箇所の大部分を修繕できたことから、目標以上の維持コスト削減が図られ、順調である。

都道府県平均達成率	-748.6%	総合所見	<p>○秋田市中心卸売市場は昭和50年3月の開設から40年以上が経過し、施設全体の老朽化が進行していたことから、緊急かつ重要な必要最低限の部分を本事業で改修したものであり、設備等の不具合が改善され、市場機能の維持が図られたと認識。</p> <p>○取扱数量については、秋田市において取扱量増加に向けた取組を実施しているが、成果目標を達成することができなかった。人口減少等の時代の潮流はあるものの、青果・水産部においてH30より取扱量が増加に転じるなど、一部明るい兆しも見受けられることから、更なる取組の推進を期待するとともに、県としても可能な限り連携を図ってまいりたい。</p> <p>○維持コスト削減については、青果・水産部で目標を達成できなかったが、施設の老朽化に伴うもので、やむを得ない面も理解できる。秋田市では「卸売市場改革プラン」に基づき、令和6年度までに現在の施設をどうするか決める方針なので、県としても動向を注視するとともに、必要に応じて連携を図ってまいりたい。</p>
-----------	---------	------	--

(注) 1 別紙様式1号の2のIIに準じて作成すること。
 2 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 5 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。